

2026年3月31日
株式会社三菱UFJ銀行

「サステナビリティ経営評価型ローン“フロントランナー”」の商品リリースについて
～株式会社丸井グループと第1号案件成約～

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一）は、お客さまのサステナビリティ全般の取り組みを支援・サポートする評価型融資商品である「サステナビリティ経営評価型ローン“フロントランナー”（以下、本商品）」の取り扱いを開始いたしました。

本商品では、サステナビリティ全般に関する取組への評価を取得し、一定基準以上のスコアを取得された企業については、「サステナビリティ経営評価型ローン“フロントランナー”」としての実行及び対外的な発信が可能となります。なお、サステナビリティ経営評価（以下「本評価」）においては、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下「MUFG」）の一員である三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（以下「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下「JCR」）をサポート企業としております。MURCが独自のチェック項目に基づき、お客様のサステナビリティに対する取り組みやサステナビリティ基準委員会（SSBJ）基準への対応状況等の評価・スコアリングした上で、JCRとの連携により客観的な評価・課題等をお客様にフィードバックします。

また本日、本商品の第1号案件として、株式会社丸井グループ（代表取締役社長 代表執行役員 CEO ^{あおい ひろし} 青井 浩／以下、丸井グループ）と、サステナビリティ経営評価型ローン契約を締結いたしました。丸井グループは、本評価において最高評価である「S」ランクを取得しました。

【本ローンの概要】

| | |
|-------|-------------|
| 融資実行日 | 2026年3月26日 |
| 貸付人 | 株式会社三菱UFJ銀行 |
| 融資金額 | 150億円 |

【高く評価を受けたサステナビリティ経営に関する主な取り組み】

<ガバナンス>

- ✓ ESG委員会やコンプライアンス推進会議などの組織体が設置されており、トップマネジメントのもとでサステナビリティに関する取組を推進している

<戦略>

- ✓ ESGおよびサステナビリティに関する中長期的なビジョンとして「丸井グループビジョン2050」を策定・開示し、サステナビリティ全般に関するマテリアリティを特定されたうえで、関連するリスク・機会について取組を推進している

<リスク管理>

- ✓ 環境法令の遵守を掲げた環境方針やグループ情報セキュリティ方針を策定し、気候変動リスクや情報リスク、サイバーセキュリティに関するリスク等、全グループの様々なリスクを統合的に管理している

<指標と目標>

- ✓ サステナビリティ委員会を中心にサステナビリティ全般のインパクトに関する目標や KPI の管理し、環境側面・社会側面の両面で中長期的な目標およびマネジメントを実施している
- ✓ 環境側面では、エネルギー使用量の削減や再エネ比率の向上等の GHG 排出量の削減に関する取組を推進している。社会側面では、サプライチェーンを通じた人権や労働環境に関する取り組み、従業員の研修およびキャリア開発、地域社会やサプライヤー、顧客等のステークホルダーとの適切なコミュニケーション等を実施し、両側面で PDCA サイクルを回して適切な管理を実施している。

丸井グループは、経営理念に基づき、「すべての人が『しあわせ』を感じられるインクルーシブな社会を共に創る」ことをミッションとしています。2019 年に策定した「丸井グループビジョン 2050」では、サステナビリティと Well-being に関わる目標を「インパクト」として定義し、現在では、「将来世代の未来を共に創る」「一人ひとりの『好き』が駆動する経済を創る」「働く人の『フロー』を生み出す社会を創る」の 3 つの目標を達成すべく、主要な取り組み項目を中期経営計画の主要 KPI として設定しています。

MUFG は、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上